

デジタル化への対応等新たな取組

デジタル化への対応

(経営強化プラン策定内容 6 項目のうち (5) 施設・整備の最適化に位置付け)

電子カルテ、マイナンバーカードの健康保険証利用、遠隔診療、オンライン診療、
その他各種情報システム等の活用など

1. 医療分野の情報化の現状 (別紙 1)

- 電子カルテシステム導入状況
- 遠隔医療導入状況
- オンライン資格確認導入状況

2. 遠隔医療について (別紙 2、別添 3)

- 遠隔相談 (医師と医師をつなげる (DtoD))
同一診療科の医師同士をつなげる
- 遠隔画像診断 (医師と医師をつなげる (DtoD))
専門医と非専門医をつなげる
- 遠隔病理診断 (医師と医師をつなげる (DtoD))
専門医と非専門医をつなげる
- 遠隔診療 (オンライン診療) (医師と患者をつなげる (DtoP))
(医師が看護師等を通じて医師と患者をつなげる
(DtoPwithN))

3. その他各種情報システム等の活用

- 他市町村の取り組み事例等
 - ・宮津市 医療 MaaS 実証事業 (約 6 ヶ月間)
 - ① 医療器材がセットされた車両に看護師が乗車し、患者宅へ
 - ② 患者は車両に乗り込み、オンラインで医師の診察を受ける。
医師は看護師に必要な支持を行いながら診察を行う。
 - ③ 京都府立医科大学附属北部医療センター、与謝医師会、訪問看護ステーション、
薬局、宮津市

・地域医療情報連携ネットワーク

情報通信技術（ICT）を活用した情報共有手段の一つ。

患者の同意のもと、医療機関等の中で、診療上必要な医療情報（患者の基本情報、処方データ、検査データ、画像データ等）を電子的に共有・閲覧できることを可能とする仕組み。

この仕組みにより、関係医療機関等の中で効率的に患者の医療情報を共有することが可能なる。

ネットワークの対象となる圏域	ネットワーク数
都道府県全域	27
二次医療圏	104
市町村	32
市町村未満	15
その他	40
合計	218

（引用：厚生労働省ホームページ「医療分野の情報化の推進について」より）

※令和元年度調査時において、基金等を活用して構築した地域医療情報連携ネットワーク数

- ① 滋賀県 びわ湖あさがおネット（別紙４）
（NPO 法人 滋賀県医療情報連携ネットワーク協議会）
- ② 長崎県 あじさいネット（別紙５）
（NPO 法人 長崎地域医療連携ネットワークシステム協議会）
- ③ 山形県 ちょうかいネット（別紙６）
（庄内医療情報ネットワーク協議会）

○電子処方箋について

オンライン資格確認システムを利用して医療機関と薬局を結ぶ仕組み（別紙７）